２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物形態機能学Ⅱ				
担当教員	平石　理恵		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	リハビリテーションに必要な体の形態機能を学ぶ 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	リハビリテーションに必要な骨格、臓器などの形態と機能を習得する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	1年次の形態機能学の振り返り	パワーポイント
2	1年次の形態機能学の振り返り	パワーポイント
3	循環器系の器官	パワーポイント
4	呼吸器系の器官	パワーポイント
5	泌尿器系の器官	パワーポイント
6	消化器系の器官	パワーポイント
7	骨格	パワーポイント
8	骨格	パワーポイント
9	骨格	パワーポイント
10	神経系の器官	パワーポイント
11	神経系の器官	パワーポイント
12	運動器系の器官	パワーポイント
13	運動器系の器官	パワーポイント
14	総復習	パワーポイント
15	期末試験	
16	振り返り	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	野生動物学				
担当教員	平石　理恵	実務授業の有無	○		
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	日本の野生動物の種類と保全、動物園等の展示動物について学ぶ 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	様々な動物の特性と人との関わりを理解する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　応用動物看護学				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	野生動物学の基礎 生物多様性の概念を理解	テキスト パワーポイント資料
2	野生動物学の基礎 野生動物の保全の意義を理解	テキスト パワーポイント資料
3	野生動物学の基礎 野生動物による鳥獣害の現状を理解	テキスト パワーポイント資料
4	野生動物の分類と生物多様性	テキスト パワーポイント資料
5	野生動物の分類と生物多様性	テキスト パワーポイント資料
6	絶滅危惧種の保全 レッドリストを理解	テキスト パワーポイント資料
7	絶滅危惧種の保全 絶滅危惧となる原因を理解	テキスト パワーポイント資料
8	展示動物の意義と動物園の役割について理解	テキスト パワーポイント資料
9	動物園の個体群管理について理解	テキスト パワーポイント資料
10	動物園の行動管理について理解	テキスト パワーポイント資料
11	動物園の施設管理について理解	テキスト パワーポイント資料
12	外来種の定義および含まれる動物を理解	テキスト パワーポイント資料
13	外来生物が在来生態系に及ぼす影響を理解	テキスト パワーポイント資料
14	外来生物への対策について理解	テキスト パワーポイント資料
15	期末試験	
16	期末試験の振り返り	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物飼育実習Ⅲ				
担当教員	佐山　恭子	実務授業の有無	○		
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	1、個体別ごとに適切な食事や環境を提供できるようになる 2、個体別に合わせたの犬の飼育に必要な接し方・ハンドリング・ケア方法を実践できるようになる 3、個体別に合わせた猫・小動物の飼育に必要な接し方・ケアの方法を学び、行えるようになる 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	正常な動物を知り、個体ごとに適した飼育管理が実践できるようになる（その動物一頭一頭に合わせた飼育管理が実践できるようになる）				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
2	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
3	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
4	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
5	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
6	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
7	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
8	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
9	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
10	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
11	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
12	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
13	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
14	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
15	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
16	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
17	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
18	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
19	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
20	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
21	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
22	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
23	期末試験	筆記と実技の試験
24	振り返り	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	動物種ごとだけではなく個別性をを持ち、動物一頭一頭に合わせた飼育管理を実践できるよう働きかける。より高度な知識・技術の習得を目指し、動物の正常と異常を判断できるようになる働きかける。

実務経験教員の経歴	動物看護師として動物病院現場において９年間係わっていた

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	就職実務Ⅲ				
担当教員	担任		実務授業の有無	×	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかり理解した上で就職活動を進めていく。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	企業研究の方法を知ることができる。 企業訪問や就職試験について知ることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動画で学ぶ　就活ナビ				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
2	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
3	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
4	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
5	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
6	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
7	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
8	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
9	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
10	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
11	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
12	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
13	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
14	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
15	期末試験	筆記と実技の試験
16	ハムスターの飼育管理の実習・フィードバック	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
17	大動物の飼育管理の実習	動物ふれあいセンターでの実習
18	小動物の飼育管理の実習	動物ふれあいセンターでの実習
19	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
20	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
21	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
22	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
23	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
24	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
25	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
26	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
27	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
28	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
29	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
30	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
31	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
32	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	1年生で学んだことを使用し環境を整えるだけなく、散歩など動物を飼育するために必要なハンドリングやブラッシング技術の習得も目指す。

実務経験教員の経歴	

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	リハビリテーション理論				
担当教員	遠藤　純一	実務授業の有無	○		
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	概論で学んだ内容を復習し、更に深く知識を身に付ける 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	実践で身に付けた知識を実行できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	リハビリテーションとは	パワーポイント
2	動物のリハビリテーションに必要な運動器の形態と機能 骨格、筋肉、関節、臓器	パワーポイント
3	動物のリハビリテーションに必要な運動器の形態と機能 骨格、筋肉、関節、臓器	パワーポイント
4	動物のリハビリテーションに必要な運動器の形態と機能 骨格、筋肉、関節、臓器	パワーポイント
5	創傷治癒の基本と運動器の障害からの回復	パワーポイント
6	創傷治癒の基本と運動器の障害からの回復	パワーポイント
7	廃用と不動化および再可動に対する筋骨格組織の変化	パワーポイント
8	廃用と不動化および再可動に対する筋骨格組織の変化	パワーポイント
9	病態の評価と身体測定	パワーポイント
10	病態の評価と身体測定	パワーポイント
11	歩様検査、整形外科学的検査、神経学的検査	パワーポイント
12	理学療法概論	パワーポイント
13	徒手療法、運動療法、物理療法について	パワーポイント
14	徒手療法、運動療法、物理療法について	パワーポイント
15	徒手療法、運動療法、物理療法について	パワーポイント
16	個々の診断に対する理学療法 整形外科的疾患と理学リハビリテーション	パワーポイント
17	個々の診断に対する理学療法 整形外科的疾患と理学リハビリテーション	パワーポイント
18	個々の診断に対する理学療法 整形外科的疾患と理学リハビリテーション	パワーポイント
19	個々の診断に対する理学療法 整形外科的疾患と理学リハビリテーション	パワーポイント
20	個々の診断に対する理学療法 整形外科的疾患と理学リハビリテーション	パワーポイント
21	個々の診断に対する理学療法 整形外科的疾患と理学リハビリテーション	パワーポイント
22	個々の診断に対する理学療法 整形外科的疾患と理学リハビリテーション	パワーポイント
23	期末試験	
24	振り返り	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師として５年勤務

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	リハビリテーション実習				
担当教員	森　恵	実務授業の有無	○		
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	9	時間数	256
授業概要、目的、授業の進め方	実践を通して動物の扱い方、マッサージ・リハビリテーションの実践、クライアント対応を学ぶ ドッグトレーニング、一般家庭家のお預かりによるケアの実施、お預かり時、お迎え時のクライアント対応 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	アニマルマッサージ/リハビリテーションプラクティショナーの認定 １人が１頭の状態把握から、ケア、クライアント対応までを一貫して行う事ができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	アニマルマッサージ／リハビリテーション科とは 人と犬の関係／歴史	パワーポイント、実習
2	犬の行動学／カーミングシグナル（カーミングシグナル／プレゼン）	パワーポイント、実習
3	ハンドリング（実習ハンドリング）	パワーポイント、実習
4	プレゼンテーション（ハンドリング）	パワーポイント、実習
5	飼い主応対／問診	パワーポイント、実習
6	犬の行動学／カーミングシグナル（カーミングシグナル／プレゼン）	パワーポイント、実習
7	ハンドリング（実習ハンドリング）	パワーポイント、実習
8	感覚器系体の組織の主なもの	パワーポイント、実習
9	解剖学①（骨格／実習）独立方で骨格を組立てて、プレゼン	パワーポイント、実習
10	解剖学②（筋肉）筋肉図に色を付けながら、筋肉の名前を覚える	パワーポイント、実習
11	解剖学③（筋肉／実習）独立方で骨に筋肉を付ける	パワーポイント、実習
12	解剖学④（実習）	パワーポイント、実習
13	アニマルマッサージ療法の原則／コンセプト／マッサージの動作	パワーポイント、実習
14	アニマルリラックセーションマッサージ療法／テクニック	パワーポイント、実習
15	アニマルリラックセーションマッサージ療法／実習	パワーポイント、実習
16	アニマルリラックセーションマッサージ療法／テクニック／実習	パワーポイント、実習
17	人畜共通伝染病／中毒	パワーポイント、実習
18	アニマルリラックセーションマッサージ療法／テクニック	パワーポイント、実習
19	アニマルリラックセーションマッサージ療法／実習	パワーポイント、実習
20	アニマルリラックセーションマッサージ療法／テクニック／実習	パワーポイント、実習
21	犬の仕事、グループ	パワーポイント、実習
22	プレゼンテーション（犬の仕事）	パワーポイント、実習
23	運動学　（GAIT）	パワーポイント、実習
24	ドッグスポーツマッサージ療法／テクニック	パワーポイント、実習
25	ドッグスポーツマッサージ療法／実習①	パワーポイント、実習
26	犬の仕事、グループ／犬種ランキング	パワーポイント、実習
27	犬の運動学（GAIT）	パワーポイント、実習
28	応急処置　（First AID）	パワーポイント、実習
29	ドッグスポーツマッサージプロ療法グラム作成／実習②	パワーポイント、実習
30	アニマルリハビリテーションマッサージ療法について	パワーポイント、実習
31	アニマルリハビリテーションプログラムカルテ作成 アニマルリハビリテーションプログラム作成	パワーポイント、実習
32	修了試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	ペットマッサージヘルスインストラクター

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学

科目名	カウンセリング話法				
担当教員	倉田　純子		実務授業の有無	×	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	
授業概要、目的、授業の進め方	人間の行動を起こすための仕組みを理解する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	人間の心の働きを学び、人間関係を良好に築けるように心構えができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・
1	なぜカウンセリングを学ぶのか、自己意識	プリント
2	自己開示、自己呈示	プリント
3	自分の話し方、聴き方①	プリント
4	自分の話し方、聴き方②	プリント
5	自分の話し方、聴き方③	プリント
6	受容、共感、自己一致①	プリント
7	受容、共感、自己一致②	プリント
8	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	期末試験前にまとめプリントを配布するが、日 ないと解答できないように作成されているため、 るようにする。

実務経験教員の経歴	

学校　シラバス

前期
16
備考
々の授業プリントが 、授業は全て出席す

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学

科目名	心理学				
担当教員	倉田　純子		実務授業の有無	×	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	
授業概要、目的、授業の進め方	人間の行動を起こすための仕組みを理解する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	人間の心の働きを学び、人間関係を良好に築けるように心構えができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・
1	心理学の歩み①	プリント
2	心理学の歩み②	プリント
3	心理学の歩み③	プリント
4	脳の仕組みと働き、学習と本能	プリント
5	記憶の仕組み、感情と欲求	プリント
6	発達心理学	プリント
7	集団とのかかわり	プリント
8	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	期末試験前にまとめプリントを配布するが、日ないと解答できないように作成されているため、るようにする。

実務経験教員の経歴	

学校　シラバス

前期
16
備考
々の授業プリントが 、授業は全て出席す

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学

科目名	行動の原理				
担当教員	今井　健介		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	
授業概要、目的、授業の進め方	後期に始まるトレーナートレーニングⅠの理論分野。主にオペラント い水族館等で飼育されている海獣類のトレーニングにおける背景（理 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	オペラント条件付け、レスポンデント条件付け、消去、般化と弁別な ける基本的な理論を学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	うまくやるための強化の原理（二瓶社）				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・
1	オペラント条件付け（強化）	座学
2	正の強化	座学
3	負の強化	座学
4	オペラント条件付け（弱化）	座学
5	正の弱化	座学
6	負の弱化	座学
7	レスポンデント条件付け	座学
8	般化と弁別	座学
9	脱感作	座学
10	シェイピング	座学
11	ハズバンダリートレーニング	座学
12	現代社会における強化	座学
13	シェイピングゲーム	座学
14	フィッシュトレーニング概要	座学
15	期末試験対策	座学
16	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	水族館元職員

学校　シラバス

前期
32
条件付けを扱 論）を学ぶ。
ど、学習にお
備考

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	しつけトレーニング実習Ⅱ				
担当教員	佐藤　大輝		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	○犬の接点から観察、基礎ハンドリングまで行い就職後お客様や患者様の愛犬を扱う際に備える ○飼い主様が犬と豊かに過ごせるための必要になる道具を使い方含めて経験し必要性を伝える技術を磨く 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	就職時に役立つ犬の基礎ハンドリングと接客含めたコミュニケーション培う事が出来る。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	愛玩飼養管理士２級教本、セルフコーチング、犬のしつけきちんとブック				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
2	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
3	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
4	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
5	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
6	実技テストとスピーチテスト	実行したしつけの確認とスピーチ発表
7	テストのフォローバック	テストの内容の補足、解説
8	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
9	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
10	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
11	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
12	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
13	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
14	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
15	実技テストとプレゼンテスト	実行したしつけの確認と道具を使用したプレゼンを撮影
16	テストのフォローバック	テストの内容の補足、解説

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	犬が参加するので人、犬に対してケガが無いような接点を実行する。道具や物資を使用しているので破損に気を付ける。

実務経験教員の経歴	ドッグトレーナーとして１０年活動

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	実験動物学				
担当教員	佐藤　緑		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	実験動物の歴史や品種、飼育管理法、動物実験との関わりについて学ぶ 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	様々な動物の特性と人との関わりを理解する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　応用動物看護学				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	動物実験の目的、意義について理解する	テキスト パワーポイント資料
2	動物種、品種、系統の概念を理解する	テキスト パワーポイント資料
3	代表的な実験動物の飼育管理・繁殖法を理解する	テキスト パワーポイント資料
4	代表的な実験動物の飼育管理・繁殖法を理解する	テキスト パワーポイント資料
5	実験動物の健康と福祉／保定の仕方／個体の管理	テキスト パワーポイント資料
6	実験動物の制御と疾患モデル動物	テキスト パワーポイント資料
7	期末試験	
8	期末試験の振り返り	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物看護師として6年弱、動物病院に勤務していた

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物臨床看護学各論Ⅱ				
担当教員	遠藤　純一		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	チーム獣医療の場で必要な病名や診断名について学習する。また、治療方針の理解度を高め、疾病別の動物看護に活かすために必要な疾病について学ぶ 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	器官別の疾患について、特有の検査や動物看護に必要な知識を学び、動物の看護を実践できるよう知識を身に付ける。疾患によって、好発種や、好発年齢があるので、そのポイントを把握した上で各症状を理解し、動物への看護法を実践できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パワーポイント資料				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	授業説明	パワーポイント
2	消化器系疾患	パワーポイント
3	消化器系疾患	パワーポイント
4	消化器系疾患	パワーポイント
5	泌尿器系疾患	パワーポイント
6	泌尿器系疾患	パワーポイント
7	泌尿器系疾患	パワーポイント
8	内分泌系の疾患	パワーポイント
9	内分泌系の疾患	パワーポイント
10	内分泌系の疾患	パワーポイント
11	生殖器系疾患	パワーポイント
12	生殖器系疾患	パワーポイント
13	生殖器系疾患	パワーポイント
14	整形外科疾患	パワーポイント
15	整形外科疾患	パワーポイント
16	期末試験	パワーポイント
17	皮膚疾患	パワーポイント
18	皮膚疾患	パワーポイント
19	皮膚疾患	パワーポイント
20	神経疾患	パワーポイント
21	神経疾患	パワーポイント
22	神経疾患	パワーポイント
23	造血器・免疫介在性疾患	パワーポイント
24	造血器・免疫介在性疾患	パワーポイント
25	造血器・免疫介在性疾患	パワーポイント
26	緊急疾患	パワーポイント
27	緊急疾患	パワーポイント
28	担がん動物の看護	パワーポイント
29	担がん動物の看護	パワーポイント
30	総復習	パワーポイント
31	総復習	パワーポイント
32	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師として５年勤務

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物看護総合実習Ⅲ				
担当教員	担任		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	45
授業概要、目的、授業の進め方	修学した知識と技術が実際の動物医療現場でどのように活かされているのか動物病院で体験・実習する。動物病院の施設構造・機能を理解し看護が行われている場の環境を理解することで、獣医療現場での臨床経験から看護動物や飼い主への配慮を含むより実践的な看護と専門知識および倫理感を習得する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	いままで修学した知識と技術、コミュニケーション能力を発揮し、先輩動物看護師に見習うことで、新人スタッフとしての心構えと社会人としての責任感を養い自身に不足している部分を理解できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	発揮したい事項① 医療チームの一員として相応しい態度、学習者としての相応しい態度	
2	学びたい技術① 動物病院で必要な環境に関するアセスメント・整備技術	
3	学びたい技術② 動物病院で必要な食事に関するアセスメント・介助技術	
4	学びたい技術③ 排泄技術	
5	学びたい技術④ 動物病院で必要な活動・休息・援助に関するアセスメント・介助技術	
6	学びたい技術⑤ 動物病院で必要な身体の清潔に関するアセスメント・援助技術	
7	学びたい技術⑥ 動物病院で必要な身体の呼吸・循環に関するアセスメント・技術	
8	学びたい技術⑦ 動物病院で必要な創傷管理に関するアセスメント・技術	
9	学びたい技術⑧ 動物病院で必要な投薬に関するアセスメント・技術	
10	学びたい技術⑨ 動物病院で必要な生体機能管理に関するアセスメント・技術	
11	学びたい技術⑩ 動物病院で必要な感染予防に関するアセスメント・技術	
12	学びたい技術⑪ 動物病院で必要な安全管理に関するアセスメント・技術	
13	学びたい技術⑫ 動物病院で必要なコミュニケーションに関するアセスメント・技術	
14	学びたい技術⑬ 動物病院で必要な周術期の看護に関するアセスメント・技術	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	動物病院での臨床実習

実務経験教員の経歴	

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物臨床看護学総論				
担当教員	秋元　彩子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護師の基本的な考え方を修得する 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	動物看護師としての観察、記録、コミュニケーション、補助技術と共に獣医学の種々の知識を身に付けて、チーム獣医療の中で動物看護師の視点で看護を行うことができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パワーポイント資料				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	動物看護過程の概要と展開 動物看護過程とは何か（目的、意義、展開方法について）	パワーポイントを使用した授業展開
2	動物看護過程の概要と展開 アセスメントについて理解する	パワーポイントを使用した授業展開
3	動物看護過程の概要と展開 事例ごとの個別性、情報の整理と解釈について理解する	パワーポイントを使用した授業展開
4	問題の明確化と動物看護計画の立案、動物看護過程の実施と評価について理解する	パワーポイントを使用した授業展開
5	診療記録 診療録（カルテ）の作成方法について理解する	パワーポイントを使用した授業展開
6	動物看護記録の目的や書式、事例に応じた作成法について理解する	パワーポイントを使用した授業展開
7	動物看護業務 チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割について理解する	パワーポイントを使用した授業展開
8	ケアの標準化（クリティカルパス）について理解する 事故管理、防止システムについて理解す	パワーポイントを使用した授業展開
9	若齢動物看護の特徴について理解する 老齢動物看護の特徴や褥瘡について理解する	パワーポイントを使用した授業展開
10	家庭での継続看護を視野に入れた退院計画・指導について理解する	パワーポイントを使用した授業展開
11	ターミナルケアに関わる技術 ターミナルケアの目的と意義について理解する	パワーポイントを使用した授業展開
12	QOL やホスピス、緩和ケアについて理解する	パワーポイントを使用した授業展開
13	グリーフケア、死亡した動物への対応とエンゼルケアについて理解する	パワーポイントを使用した授業展開
14	ターミナルケアについて知る 概要と事例紹介	パワーポイントを使用した授業展開
15	動物看護記録 重要性と必要性、記録の一般的な注意、管理方法、開示	パワーポイントを使用した授業展開
16	期末試験	事例を基に看護過程を考える

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院にて9年間の実務経験あり

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	グルーミング実習Ⅰ				
担当教員	梅本　実生		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	96
授業概要、目的、授業の進め方	グルーミング技術の習得。犬種ごとに安全なグルーミングが出来るようにする。グルーミングにより犬の生理や健康管理、衛生管理を行う。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	120分の中で、シャンプー、ベイジング、ドライング、爪切り、耳掃除、足裏の毛のカット、足回りが1人で出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	グルーミング実習（実践）チワワ	犬種ごとのグルーミング技術を学ぶ
2	グルーミング実習（実践）ダックス	
3	グルーミング実習（実践）ポメラニアン	ダブルコートのブラッシングを身に付ける。
4	グルーミング実習（実践）パピヨン	
5	グルーミング実習（実践）ヨークシャーテリア	
6	グルーミング実習（実践）シュナウザー	
7	グルーミング実習（実践）プードル	ブロードライングの技術を身に付ける。
8	グルーミング実習（実践）マルチーズ	
9	グルーミング実習（実践）ピンシャー	
10	グルーミング実習（実践）大型犬	
11	グルーミング実習（実践）パグ	
12	グルーミング実習（実践）シーズー	
13	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	シザーやクリッパーを使用し部分カットを行う。
14	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
15	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
16	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	
17	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
18	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
19	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	
20	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
21	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
22	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	
23	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
24	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
25	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	
26	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
27	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
28	グルーミング実習（実践）期末試験に向けた模擬テスト①	
29	グルーミング実習（実践）期末試験に向けた模擬テスト②	
30	グルーミング実習（実践）期末試験に向けた模擬テスト③	
31	グルーミング実習（実践）期末試験に向けた模擬テスト④	
32	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	ショップトリマー歴4年

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	グルーミング実習Ⅱ				
担当教員	梅本　実生		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	9	時間数	256
授業概要、目的、授業の進め方	グルーミング技術の習得。犬種ごとに安全なグルーミングが出来るようにする。グルーミングにより犬の生理や健康管理、衛生管理を行う。 1人1頭の犬をグルーミングを行う。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	120分の中で、シャンプー、ペイジング、ドライング、爪切り、耳掃除、足裏の毛のカット、足回りが1人で出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	グルーミング実習（実践）チワワ	犬種ごとのグルーミング技術を学ぶ
2	グルーミング実習（実践）ダックス	
3	グルーミング実習（実践）ポメラニアン	ダブルコートのブラッシングを身に付ける。
4	グルーミング実習（実践）パピヨン	
5	グルーミング実習（実践）ヨークシャーテリア	
6	グルーミング実習（実践）シュナウザー	
7	グルーミング実習（実践）プードル	ブロードライングの技術を身に付ける。
8	グルーミング実習（実践）マルチーズ	
9	グルーミング実習（実践）ピンシャー	
10	グルーミング実習（実践）大型犬	
11	グルーミング実習（実践）パグ	
12	グルーミング実習（実践）シーズー	
13	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	シザーやクリッパーを使用し部分カットを行う。
14	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
15	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
16	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	
17	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
18	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
19	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	
20	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
21	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
22	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	
23	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
24	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
25	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	
26	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
27	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
28	グルーミング実習（実践）期末試験に向けた模擬テスト①	
29	グルーミング実習（実践）期末試験に向けた模擬テスト②	
30	グルーミング実習（実践）期末試験に向けた模擬テスト③	
31	グルーミング実習（実践）期末試験に向けた模擬テスト④	
32	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	ショップトリマー歴4年

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	造形美術				
担当教員	松永　せい子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	ドッグマネキンをカットすることで、実際のトリミングのイメージをつかむ。また、道具の扱い方の練習を行う。 立体のスタイルを作り上げる際に必要な観察力、想像力、形体を構成する力を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	トリミングに必要な技術と観察力を身に付け、個体それぞれのトリミングが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ペットライフ社　トリマーのためのベーシックハンドブック				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	ラムクリップについて	トリミングの基本要素が集約されたもの。
2	面と角について、シザーについて	面と角を理解する。シザーの正しい持ち方、動かし方を修得する。
3	シザー動かし方練習 後肢フットライン	カットの時は、常に全体のバランスをしっかりみて行う。
4	前肢フットライン	
5	お尻周辺のカット	
6	お尻～アンギュレーション～飛節～飛節下のカット①	
7	後肢のカット、角取り	
8	お尻サイド、タックアップの位置決め	
9	ボディーサイドカット、アンダーカット、角取り	
10	前肢カット、角取り	
11	フロント①	
12	背線カット	
13	顔のカット①	
14	全体のバランスを見て仕上げ①	
15	全体のバランスを見て仕上げ②	
16	完成品　評価	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。	

実務経験教員の経歴	独立サロン経営

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物薬理学Ⅱ				
担当教員	佐山　恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	薬は獣医師の処方により調剤するが、その薬理作用および副作用などを動物看護師が確認し、知識を有することは、カルテに記載された内容を正しく理解し、作用と症状の変化を予測する上で重要である。さらに動物は、種による体重の違いも大きく、生理的代謝の特異性による投与禁忌などがあるので確認が必要となるので、薬物の取扱いと保存方法を習得し、正確な薬用量計算ができなければならない。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	薬理学総論を通して、薬には基本的性質があり効能と副作用の両方を有することを理解できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　基礎動物看護学				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	総論　薬理学とは 薬と類する物の分類	医薬品と医薬部外品の違いについて
2	おもな薬剤の特性 自律神経作用薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
3	おもな薬剤の特性 自律神経作用薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
4	おもな薬剤の特性 抗菌薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
5	おもな薬剤の特性 抗菌薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
6	おもな薬剤の特性 合成ステロイド	獣医療の場で使用される薬剤の各論
7	おもな薬剤の特性 合成ステロイド	獣医療の場で使用される薬剤の各論
8	おもな薬剤の特性 非ステロイド抗炎症剤	獣医療の場で使用される薬剤の各論
9	おもな薬剤の特性 非ステロイド抗炎症剤	獣医療の場で使用される薬剤の各論
10	おもな薬剤の特性 循環器疾患に対する薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
11	おもな薬剤の特性 循環器疾患に対する薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
12	おもな薬剤の特性 消化器疾患に対する薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
13	おもな薬剤の特性 消化器疾患に対する薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
14	おもな薬剤の特性 腫瘍疾患に対する薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
15	薬用量の計算	動物は、年齢、体重、体格が様々である。薬物の投与量は動物ごとに決定する必要がある。
16	期末試験	動物薬理学の総まとめ

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	解剖生理学やカタカナ用語が多く出てくることから、苦手意識を持つ学生が多い。しかしながら、現場での必要性は非常に高く、覚えておくことで効率的に現場医療に介入できるであろう。まずは、薬について興味を持つことが重要である。

実務経験教員の経歴	動物看護師として動物病院現場において９年間係わっていた